

令和 8 年度

第 1 回浦安市防災会議議事録

1 開催日時 令和 8 年 7 月 2 日（木）午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分

2 開催場所 浦安市本庁舎 4 階災害対策本部室

3 出席者

（委員等）

防災会議会長及び委員 25 名

（事務局）

総務部長・総務部危機管理監・総務部次長・危機管理課長他 4 名

4 傍聴者 2 名

5 議 題

（1）浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）について

（2）その他

6 議事の概要

（1）浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）修正について

・浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）について、事務局より概要説明

（2）その他

・「新たな防災気象情報の運用開始」について銚子地方気象台長より説明

7 会議経過

（1）浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）修正について

・浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）について、事務局より概要説明

（会長）

能登半島地震では、中学生が避難所などの現場で活躍していた。その教訓を活かし、現在、市内の中学校で避難所の訓練を行っている。避難所運営訓練について、教育長より説明をお願いしたい。

（教育長）

中学 2 年生を対象に、避難所運営訓練を全ての市内公立中学校で実施している。組立式トイレの設置、発電機の起動、体育館でのプライベート空間づくりなどを体験している。平日昼間の災害時には、中学生が避難所運営の中心となる可能性があるため、重要な取り組みである。

(会長)

自治会連合会長、最近の自主防災組織の避難所運営訓練の状況についてお伺いしたい。

(自治会連合会)

給水訓練はまだ実施したことがなく、計画に書いてある訓練でも未実施のものがあり、今後取り組む必要がある。また、今年はマニュアル通りに役員が動けるかを確認した。

(会長)

千葉県企業局市川水道事務所葛南支所長、災害時の給水体制についてお伺いしたい。

(千葉県企業局市川水道事務所葛南支所)

浦安市などを行う合同防災訓練を令和8年7月16日に実施を予定している。
給水体制については、災害の発生状況などを含め浦安市と相談しながら検討したい。

(会長)

銚子地方気象台長、東京湾周辺で津波が発生する可能性についてお伺いしたい。

(銚子地方気象台)

千葉県は、3つの想定地震をもとに被害想定を公表している。
外房では、10mを超える津波が想定される地域もある。

(会長)

浦安に10mの津波は来ないと思ってよいか。

(銚子地方気象台)

断言はできないが、震源の位置・深さによっては大津波が発生し得る。
ただし、あくまで想定であり、過去の経験から警戒が必要。

(会長)

葛南土木事務所長、浦安市の高潮の発生についてお伺いしたい。

(葛南土木事務所)

浦安市は、津波より高潮の方が被害が大きくなる可能性がある。打ち上げ高を含め、6m程度になる想定もある。想定は過去事例に基づくため、住民への周知が重要と考える。

(会長)

浦安市の常住人口が17万人であるが、休日には観光客含め滞在人口が大きく上回るため、その視点も地域防災計画に入れて策定している。オリエンタルランドより、テーマパークとしての取り組みについてお伺いしたい。

(オリエンタルランド)

オンステージ訓練を2回、パーク全体訓練を年1回実施している。来園者向けに3日分の水・食料を備蓄しているが、想定を超える場合は、公助をお願いする場面もあると

考えている。

（会長）

N T T 東日本株式会社千葉事業部千葉西支店長、通信基盤についてお伺いしたい。

（N T T 東日本株式会社）

地下化やアンテナの細分化など、通信断絶を防ぐ対策を進めている。
完全な防止は難しいが、通信断絶した際の早期復旧に向けた体制を整えている。

（会長）

新浦安駅長、鉄道が運行不能になるなどのリスクについてお伺いしたい。

（新浦安駅）

震度 5 ～ 6 では線路・架線の見視確認が必要であり、運転再開には時間かかる。
鉄道運行不能時、自律的に初動対応ができるよう訓練している。

（会長）

脱線が発生した場合、どのくらいで復旧するのか。

（新浦安駅）

原因究明が必要のため、期間の明言は難しい。

（東京メトロ浦安駅務管区）

原因究明後に復旧となるため、時間がかかる場合がある。

（会長）

高潮で床上浸水した場合、衛生面を考え石灰を撒くなどの対策は有効なのか。

（市川健康福祉センター）

水分が多いと逆効果でもあるため、浸水の状況に応じた対応となる。

（会長）

議題 1、浦安市地域防災計画（令和 7 年度修正素案）修正について承認でよろしいか。

（委員）

異議なし。

（会長）

軽微な修正は私に一任いただけるか。

（委員）

異議なし。

(2) その他

- ・「新たな防災気象情報の運用開始」について銚子地方気象台長より概要説明。

(銚子地方気象台)

令和8年5月29日から新たな防災気象情報の運用が始まった。注意報・警報・危険警報・特別警報にレベルを付し、市民が避難の判断をしやすくしている。線状降水帯の情報は「気象防災情報」として発表し、危険度の高まりは気象庁の発表する「キキクル」で確認できるため、市が発令する避難情報等に活用するようお願いしたい。

(会長)

レベル3・4が出ても、危険な場所でなければ避難しなくてよい、という理解でよろしいか。

(銚子地方気象台長)

はい。対象は、危険な場所にいる人であり、浦安市全域が危険になるわけではない。気象庁の発表する「キキクル」で危険度の高い地域を確認して判断するようお願いしたい。

(会長)

自治会連合会や赤十字奉仕団の皆様にも周知をお願いしたい。

また、市民の混乱を防ぐため、市川や江戸川のエリアメールを妙典辺りで区切る等の適正化ができないかご検討いただきたい。

最後に、大雨などで江戸川が増水した際に、江戸川水閘門は開けて行徳可動堰は開けないのはなぜか。

(江戸川河川事務所)

操作規則で、江戸川水閘門を先に開けることになっている。

(会長)

操作規則ではそのように決まっているが、浦安市の要望としましては、雨が止んだ後に旧江戸川の水位が上がり、市民が不安になるため、行徳可動堰を先に開けていただくようご検討いただきたい。

以上